

弥富市事務事業評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	48	1	事務事業名	公共物管理事業		細事務事業名	公共物管理事業		公的関与	1	シート作成日	平成29年6月29日					
	課名	土木課		グループ	用地		担当課長名	伊藤仁史		シート作成者名	浅野克教							
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託							
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input checked="" type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等							
	総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ				実施計画		事業の開始・終了									
		施策項目	土地の有効利用				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	土地利用に関する総合調整				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		道路法							
	個別計画																	
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)												
		道路用地				道路用地の境界を確定し、区域を明確にします。また、道路用地内の占用物の設置に対し審査し、適正な管理を行います。												
事業の内容	申請に基づき、道路と民地との境界立会いを行い、境界を明確にし用地管理をします。また、道路区域内に設置される占用物に対し、道路法に基づき審査し道路の適正な管理を行います。																	
成果指標	①	指標名	申請件数に対する処理件数の状況						②	指標名								
		指標設定の考え方	境界立会件数と処理件数及び占用許可申請に対する許可件数				単位	%		指標設定の考え方					単位			
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		目標平成 30 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度
		実績	100	実績	100	目標	100	目標		100	実績		実績		目標		目標	
		目標	100	目標	100	目標		目標			目標		目標		目標		目標	
		実績		実績		目標		目標			実績		実績		目標		目標	
DO	予算費目	会計		款		項		目										
	直接事業費	平成 27 年度決算額		平成 28 年度決算額		平成 29 年度予算額												
		国・県支出金	千円		千円		千円											
		地方債	千円		千円		千円											
		その他特定財源	千円		千円		千円											
		一般財源	千円		千円		千円											
	計(A)	0 千円		0 千円		0 千円												
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.858 人		0.858 人		0.533 人											
		臨時職員工数・経費	5,920 千円		5,920 千円		3,678 千円											
		臨時職員工数・経費	0 千円		0.600 人		960 千円		0.600 人		960 千円							
全体事業費(A+B)	5,920 千円		6,880 千円		4,638 千円													

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	はい	いいえ		はい	いいえ	
CHECK	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	公共用物を適正に管理するのに必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
CHECK	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	道路と民有地の境界立会いを行い、境界確定をすることにより用地を適正に管理できます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
CHECK	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	道路区域内の占用申請の審査を行い、占用者に対し適正に指導します。また、境界立会い申請に基づき、事務処理を進めます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している					
CHECK	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	道路の適正管理を進めます。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 1	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	公共用物を適正に管理するための台帳作成が必要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
	課題解決のための改善計画	予算を確保し、計画的に整備を進めます。					公有財産及び普通財産の一元管理できる体制整備が必要です。				
備考											